

# ホームページの管理運用について

文化事業部  
北島 宗雄

当社の懸案のひとつであり、また今期事業の目玉のひとつであった、ホームページのリニューアルがようやく実現し、4月半ばに公開することができました。いろいろご協力、ありがとうございました。

この立ち上げは文化事業部が担当し、プランから技術的な面まで試行錯誤で、途中一度ならず、データ喪失というような茫然となる場面もあり、ようやく現状までこぎつけたわけですが、実はこれはまだまだ、たたき台にすぎないのです。

より閲覧者に評価され、多数の人たちが訪れ、いろいろな面で会社のイメージを高め、またメッセージを発信でき、さらに営業に資するようなホームページに、これから育ててゆかなければなりません。

この点ホームページは、公開し、閲覧者のアクセスを解析し、改善・更新し、また閲覧者の反応を見、また改善・更新してゆくという、PDCAサイクルにうってつけのメディアでもあるのです。

しかも、当社のホームページは自社の内製ですから、適時に内容を付け加え、よりよいものに改め、更新してゆくことが可能です。

当初、また現在も、いろいろな構想があつて、技術的な問題等でペンディングとなっているページもいくつかあります。例えば、トップページにお知らせや新着情報のコーナーが欲しい、当社オリジナルのPR動画を見

られるようにしたい、お客様からのお便り紹介、あるいは、お客様の質問に対し、薬剤師がお答えするようなコーナーを設けたい等々。

いろいろやりたいこと、(おそらく)できることは、まだまだたくさんあるのですが、その際のルールを設けておく必要があると思います。

それは、ページ更新や新設・削除を含めた管理運用が、このホームページの目的やコンセプト、さらには、会社そのものの経営理念や方針に立脚しなければならないからです。

のために、ちゃんとしたホームページには、「管理運用規程」というものが設けられます(静岡県薬剤師会HPなどをご覧ください)。当社ホームページでも、ごく簡単なものになると思いますが、「㈱中島薬局ホームページ管理運用規程」を準備したいと思います(出来次第、各薬局あてメールで公表予定)。

当面、中島成一社長、中島正樹総務部長、それに私(文化事業部・北島宗雄)の三者が定期的に協議し、規律正しく運用(「HP管理運営委員会」のような位置づけ)してゆきたいと考えていますが、HPが得意な方や関心がある方のアドバイス、またいろいろなアイディアや要望は隨時受け付けますので、北島あて、メールいただければ幸いです。